

JA全農 とくしま情報

地域の話題や活動のご報告
今後のお知らせなど
JA全農とくしまと、あなたをつなぐ
コミュニケーション情報誌

2023
2月号
No.760



「とくとくサラダ～阿波のバイザンヌサラダ～」共同開発の発表を行う関係者

マンスリーレポート ————— 2

- ・令和5年子牛初せり市
- ・徳島県産食材の消費拡大推進活動とくとくサラダ～阿波のバイザンヌサラダ～
- ・京都の西洋料理長に県産レンコンを提案
- ・JAアグリあなん「宮浜事業所」新装開店
- ・阿波ふうどフェア
- ・JR徳島駅で県産花き展示
- ・かんしょ移植機実演会

旬の野菜でおうちごはん ————— 6

- ・カブと生ハムのカルパッチョマリネ

浜ちゃん・ちっちゃんのうまいモノ絵日記 ——— 7

- ・その⑬ ～華麗で長持ち シンビジウム～

交通安全お知らせ ————— 7

- ・自転車運転者の交通事故防止について

トピックス ————— 8

- ・営農コラム

マンスリーレポート

～出荷頭数78頭、平均379,153円～

令和5年子牛初せり市

1月5日、当県本部は板野郡上板町の上板畜産センターにおいて、令和5年子牛初せり市を開催しました。

初せりに先立ち、宮田卓次副本部長が昨年の取引実績を紹介し「本年も優良素牛の供給を通して本県畜産事業の発展と振興に寄与し、昨年以上に活性化されるよう取り組んでまいります」と年頭のあいさつをおこないました。

続いて、徳島県肥育素牛生産組合協議会の村部烈雄会長の音頭により、牛乳の消費拡大に向けて牛乳で乾杯をおこないました。

せり親の威勢のよい掛け声を合図に、県内および兵庫県、香川県の畜産農家で育てられた、生後6～10ヶ月の子牛78頭がせりかけられました。子牛は、県内をはじめ香川県、兵庫県、福井県から集まった購買者によって次々とせり落とされました。最高価格は435,600円(税込)、子牛1頭あたりの平均価格は379,153円(税込)、価格推移の指標となる交雑種去勢の平均価格は398,047円(税込)となりました。

また初せりのこの日は、当日の1頭目、交雑種雌の最高価格、交雑種去勢の最高価格、ラッキー賞4頭の子牛をせり落とした方々にそれぞれ記念品が贈呈されました。



年頭のあいさつを行う宮田卓次副本部長



威勢のよい掛け声とともに開幕した子牛の初せり

～徳島県×JA全農とくしま×キューピー株式会社で共同開発～ 徳島県産食材の消費拡大推進活動 とくとくサラダ～阿波のペイザンヌサラダ～

1月13日、徳島県産食材を使用した地産地消企画「とくとくサラダ～阿波のペイザンヌサラダ～」のプロモーションのため、キューピー株式会社中四国支店の猿渡守支店長、同社四国営業所の萩健所長、とくしまブランド推進機構の丸谷修一副代表、当県本部の長江郁哉県本部長ら関係者約20人が飯泉嘉門徳島県知事を表敬訪問しました。

この取り組みは、徳島県、キューピー株式会社および当県本部が、徳島県産食材の消費拡大を図ることを目的としています。今回3者が共同で開発した「とくとくサラダ～阿波のペイザンヌサラダ～」は、徳島県産のなると金時やレンコン、ブロッコリー、ニンジン、シイタケ、阿波尾鶏などの農畜産物を具材とし、同社商品のペイザンヌサラダドレッシングをかけたもので、素材の味を生かした食味だけでなくカラフルな色合いも楽しむことができます。

3月から、徳島県内量販店で「とくとくサラダ～阿波のペイザンヌサラダ～」を大々的に紹介し、一般消費者へ県産農畜産物の消費拡大を呼びかけます。



「とくとくサラダ～阿波のペイザンヌサラダ～」共同開発の発表を行う関係者



関係者による試食

～徳島県産レンコンをPR～

京都の西洋料理長に県産レンコンを提案

1月18日、当県本部は京都青果合同株式会社、京都市場内の仲卸会社、徳島県の協力のもと、一般社団法人全日本[※]司厨士協会京都府本部(京都市中京区)で、同協会に加盟している京都府内ホテルの西洋料理の料理長ら7人に、徳島県産レンコンの特性や生産についてのこだわりなどを紹介しました。

この説明会は、和食材であるレンコンが西洋料理にも適している食材であることをアピールし、レンコンの使用用途を広げることを目的としています。

当日は当県本部大阪事務所の佐藤広司所長が「徳島県産レンコンは節ごとに食感が違い、調理の仕方でサラダや煮物、すりおろしなど多様な料理で食卓を彩ることが出来ます。また、料理のアクセントとしても優れた食材なので、ホテルのランチやディナーでぜひ使用してください」と伝えました。

参加した料理長からは「レンコンの特性がよく理解できた」「ホテルのフェアに向け検討したい」といった前向きな意見をいただきました。

※司厨士(しちゅうし):主に西洋料理に従事する料理人



西洋料理長らに県産レンコンをPRする大阪事務所の佐藤所長



県産レンコンの特性や生産などを理解いただき前向きな意見をいただきました

～地域の利便性向上へ～

JAアグリあなん「宮浜事業所」新装開店

JAアグリあなんは1月19日、那賀西部支店の跡地を生活購買店舗へと改装し、宮浜事業所としてリニューアルオープンしました。

落成式には、同JA役職員や当県本部などの関係者が参加し、木村晃組合長をはじめJA関係者によるテープカットがおこなわれました。

10時からのオープン記念セール(19日～21日)では、記念品の先着プレゼントのほか、ジェイエイ徳島燃料サービス株式会社によるガステーブル展示即売会やJAでんきのキャンペーン推進などもあり、多くのお客様が詰めかけていました。

店内は、日用品・食料品・飲料・酒・生鮮品などの販売や地域住民の交流スペースも設けられており、地域の利便性を向上する身近な店舗以外にも地域のコミュニティセンターとしての役割を持った施設として期待されています。



関係者によるテープカットの様子



たくさんの買い物客が詰めかけた店内

マンスリーレポート

～兵庫・和歌山・滋賀で徳島県産農産物をPR!～

阿波ふうどフェア

◆1月21日(兵庫県)

当県本部園芸部は、徳島県関西本部、神果神戸青果株式会社の協力のもと、兵庫県神戸市の神戸中央卸売市場の料理教室において「徳島県野菜親子クッキング」を開催し、18組の親子が徳島県産のダイコンとサツマイモを使用した料理(4品)の調理方法を学習しました。

調理実習に先立ち、園芸部大阪事務所の平嶋優皓職員が徳島県産ダイコンの特徴や栄養素、保存方法などについてクイズを交え授業をおこないました。

調理実習では、キッズキッチン協会のインストラクター志賀つねこ講師が「だいこんの肉詰め」「だいこんのきんぴら」「だいこんもち」「なると金時いもきんとん」を子供にも分かりやすく説明し、実演をおこないました。説明を受けた後、親子はそれぞれのキッチンで協力しながら楽しく調理をおこないました。

徳島県のマスコットキャラクターすだちくんも登場し、子供たちとの写真撮影やお土産の配布などで大いに盛りあがりました。

また同日、神戸市中央卸売市場前のイオンスタイル神戸南店において「阿波ふうどフェア」も開催し、店舗内に設けられた特設コーナーでは、ブロッコリー、菌床シイタケ、なると金時、ダイコン、ハウレンソウ、レタスなど徳島県産農産物を大阪事務所の職員がすだちくんと一緒に宣伝販売をおこない、子供連れなどの多くのお客様が来店しました。

◆1月28日(和歌山県)

当県本部園芸部は、徳島県関西本部、大阪南部合同青果株式会社の協力のもと、和歌山県和歌山市のスーパーエバグリーンプラス和歌山北インター店において「阿波ふうどフェア」を開催し、徳島県産農産物の販売・PRをおこないました。

店舗内に設けられた特設コーナーでは、なると金時、レンコン、ダイコン、イチゴ、ブロッコリー、ハウレンソウ、菌床シイタケ、スダチなどの県産農産物を販売しました。この日は、徳島県のPRトラック「新鮮なっ!とくしま号」も搬入され、午前の部では、なると金時(里むすめ)の焼き芋(150人)、レンコンの天ぷら(100人)の配布にお客様の長蛇の列ができました。午後の部では、なると金時(里むすめ)の焼き芋(150人)と、なると金時ぜんざい(100人)が配布され、午前の部と変わらず多くのお客様が詰めかけ盛況でした。

また、すだちくんも登場しダンスやお客様との写真撮影などでたいへん盛りあがり、多くの来場者に喜んでいただきました。

◆1月29日(滋賀県)

当県本部園芸部は、徳島県関西本部、滋賀びわ湖青果株式会社の協力のもと、滋賀県草津市のスーパーハズイ西店において「阿波ふうどフェア」を開催し、徳島県産農産物の販売・PRをおこないました。

店舗内に設けられた特設コーナーでは、なると金時、レンコン、ダイコン、ブロッコリー、ハウレンソウ、菌床シイタケ、スダチなど徳島県産農産物を販売しました。徳島県のPRトラック「新鮮なっ!とくしま号」も搬入され、午前の部では、なると金時(里むすめ)の焼き芋(100人)、レンコンと徳島野菜を使ったシチュー(100人)の配布をおこないました。午後の部では、なると金時(里むすめ)の焼き芋(100人)と、レンコンのスティックフライ(100人)が配布され、午前の部同様、多くのお客様が詰めかけ盛況でした。

大寒波の影響もあり寒いなかでのイベントでしたが、すだちくんのダンス披露や大阪天水連による阿波踊りもおこなわれ、お客様が一緒に踊りに参加するなどとても満足していた様子でした。



授業を行う大阪事務所の平嶋職員



徳島県産農産物の売り場(イオンスタイル神戸南店)



徳島県産農産物の売り場(スーパーエバグリーンプラス和歌山北インター店)



焼き芋配布に並ぶお客様の長蛇の列



徳島県産農産物の売り場(スーパーハズイ西店)



れんこんのスティックフライを受け取る買い物客

～Tokushima Flower Festival 2022～

JR徳島駅で県産花き展示

徳島県ととくしまの花振興協会（会長＝全農徳島県本部・坂本雅彦 副本部長）は、昨年11月より県内各地で徳島県産花きのPR展示「Tokushima Flower Festival 2022」を開催しています。

1月26日～30日、JR徳島駅において県産花きのPR展示を実施しました。期間中、徳島駅のエントランスには、白やピンク、黄のシンビジウムとオンシジウムなどを使用し華やかに飾り付けた美しいフラワーアレンジメントや鉢物（シンビジウム）が展示されました。JRの利用客からは展示された花きに足を止め「徳島県内でこんなにたくさん花が栽培されているんですね」と華やかなシンビジウムの美しさに見入っていました。



花き展示に足を止めるJR乗降客



シンビジウムのフラワーアレンジメントなどの展示

～生産者の労力軽減・効率的な栽培へ～

かんしょ移植機実演会

1月27日、徳島県立農林水産総合技術支援センターは名西郡石井町の同センター大会議室及び砂地ほ場において「かんしょ移植機実演会」を開催しました。

同センターでは、平成30年度から農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究「青果用かんしょの省力機械移植栽培体系の確立」で、挿苗作業を省力化でき、苗を「船底型」に植えられることができる「高性能移植機」の開発に取り組んでおり、この日の実演会は、開発された新しい移植機の普及を図ることを目的に開催されました。

実演会には、生産者、徳島県、当県本部関係者など約50人が参加し、ほ場での実演作業の前に同センター農産園芸研究課スマート農業担当統括研究員の村井恒治氏から事業研究成果について説明がおこなわれ、続いて、井関農機株式会社アグリクリエイト部の村並昌実副部長からは開発機についての説明がありました。

実演された移植機は、県と井関農機株式会社などが共同開発したもので、自動で苗をつかみ、等間隔で畝に差し込む作業がおこなえます。従来の移植機に比べ、苗の長さや太さなど適用性の向上や苗のつかみミスが無く安定しており、旋回もしやすくなっています。県の実験では10アールあたり移植関連の作業時間を約32%短縮することができ、作業の労力軽減と省力化が図れます。

県内のかんしょ栽培は、苗の移植を手作業でおこなっており、労働時間が長く生産性の向上が大きな課題となっているため、参加した農業関係者は労力軽減できる移植機に高い関心を示していました。

なお、今回開発実演された移植機は井関農機株式会社より令和5年5月頃販売される予定となっています。



説明会の様子



かんしょ移植機の説明を受ける関係者



かんしょ移植機の実演を見学する関係者

料理研究家HITOMI先生が薦める、簡単スピーディー、そして楽しんで作れるレシピをご紹介します！



カブと生ハムのカルパッチョマリネ



▼材料(2人分)

カブ……………2個
生ハム……………6枚
ミニトマト……………5個
にんにく……………2片

A { オリーブ油……………大4
塩……………小2/3

▼作り方



① カブは皮を剥いて薄切りにし、茎は2cmに切って塩水に浸す。



② ミニトマトは薄切りにして、にんにくのすり下ろしとAを加える。

③ ②に①を加え、半日漬け込む。

④ ③を生ハムと一緒に盛り付ける。

POINT

ラップをのせ、手で押さえて空気を抜くと漬かりが早い。



料理研究家 HITOMI <http://www.hitomi-cook.com>

◎免許：調理師免許、食空間テーブルコーディネーター2級、JA全農とくしま園芸部 クッキングアドバイザー
◎賞：2014年NHK社会貢献賞授与 ◎活動歴：TV=NHK徳島放送局料理コーナーレギュラー出演／ラジオ=TBS「伊集院光とラジオと」に毎月レシピ提供 ◎JA全農とくしまとのコラボイベント：大阪ガスハグミュージアムにて鰯を使った爽やか料理講習会／大阪中央卸市場にて徳島県の食材を使った料理講習会 ◎カルチャー講師：兵庫イオンカルチャー（姫路、加古川、明石の3店舗）講師／神戸市立長田区勤労センター、神戸市立西区民センター講師 ◎店舗用レシピ開発、商工会での商品開発など



その 153

～華麗で長持ち シンビジウム～

◆大切な人に花を贈る◆

毎年年末にはシンビジウムの鉢物を、愛する妻のために買っていく。そのシンビジウムの花は、まだまだ元気で長持ちだ。妻の機嫌もそこそこ良い。

◆徳島の若手洋ラン切り花農家の連帯◆

JA全農とくしまの会議室で、年間を通じて定期的に打ち合わせをしている生産者団体がある。阿波洋らん青年倶楽部である。構成員は、徳島洋蘭連合会。JAアグリあなん。徳島県洋ラン生産組合。土成町洋ラン生産組合などの方々である。JA管内で言うと、JA板野郡、JAアグリあなん、JA徳島市、JA東とくしまなど、県内各地から集まっている。

徳島県は全国有数のシンビジウムの生産地であり、洋ラン類（切り花）の生産量は全国2位を誇る。

◆花がもつ、不思議な力◆

日本の詩歌に詠まれたり、絵画に描かれている「花鳥風月」。花や鳥を美しいと感じ、風や月の変化が美しいという意味だと思っている。還暦を過ぎた私も、日本の四季の変化は美しいと、若いときより余計に感じる年寄りになってしまった。花は、五感を刺激して、気持ちを元気にしてくれる。感動があり、心が癒やされ、元気が出てきて、安らぎと幸せを届けてくれる。

◆ランは見ていた。◆

松嶋菜々子が主演する「家政婦のミタ」という

高視聴率を稼いだテレビドラマがあった。主人公の三田灯（みたあかり）は、掃除、洗濯、料理を完璧にこなすが、感情がない。という設定であった。主人公の三田からは感情が見えなくとも、逆に、部屋にある美しいランの花の方から見ると、大いに感情が動いた。花を視聴者の代弁のような設定にして、ランの花の方から感情を動かすという、うまい脚本であった。と記憶している。これも花の持つ美しい魔力のひとつである。

◆花の魔法◆

妻の機嫌をとってくれるシンビジウムの魔力に気づいた私。皆さんも、そんな魔法があるシンビジウムの魔力を借りたいときがあるんじゃないかな。そして、どんな花の力を借りたら、少しでも世界平和になっていくんじゃないかな。たまには、団子より花がいいんじゃない。



交通安全のお知らせ

自転車運転者の交通事故防止について

自転車安全利用五則

自転車に乗る際は、自転車安全利用五則を守り安全に乗りましょう!!



1. 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
2. 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
3. 夜間はライトを点灯
4. 飲酒運転は禁止
5. ヘルメットを着用

【車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先】

道路交通法上、自転車は「軽車両」です。車道と歩道の区別があるところは車道通行が原則です。そして、道路の左側に寄って通行しなければなりません。歩道を通行できる場合は、車道寄りを徐行しなければならず、歩行者の通行を妨げる場合は、一時停止をしなければなりません。

【交差点では信号と一時停止を守って、安全確認】

道路を通行する際は、信号機に従わなければなりません。歩行者用信号機に「歩行者・自転車専用」の標識がある場合は、歩行者用信号機に従わなければなりません。一時停止標識のある場所、踏切などで

は、必ず止まって左右の安全確認をしましょう。

【夜間はライトを点灯】

夜間は必ずライトを点けなければなりません。尾灯又は反射材を備えていない自転車は、夜間に運転してはいけません。

【飲酒運転は禁止】

お酒を飲んだときは、自転車に乗ってはいけません。酒気を帯びている方に自転車を提供したり、飲酒運転を行うおそれがある方に酒類を提供してはいけません。

【ヘルメットを着用】

令和5年4月1日から年齢を問わず、自転車に乗る全ての人はヘルメット着用が義務化されます。自転車に乗るときは命を守るヘルメットを被り、習慣化しましょう!!

◎自転車に乗るときは、乗車用ヘルメットを着用しましょう。幼児・児童を保護する責任のある方は、幼児用座席に乗せるときや幼児・児童が自転車を運転するときは、乗車用ヘルメットを被らせるようにしましょう。
徳島県警察本部 交通企画課



営農コラム

2023年農畜産物の販売傾向について 営農支援課 技術主管 隔山 普宣

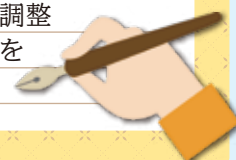
日本農業新聞が小売り、外食、卸売業者などの販売担当者に聞き取りした『2023年の農畜産物トレンド（傾向、動向、流行）調査』の結果が2023年1月5日の同紙に発表されました。この調査は流通業者の傾向を把握して消費実態に合わせた農業生産につなげる目的で実施しています。

まず、『2023年販売のキーワード』は、今回新たに加えた「適正価格での販売（値上げ・コスト転嫁）」（新設）がトップとなりました。コスト上昇分を販売価格に転嫁できるかが、産地と実需者共通の課題です。2位は「物流」で、昨年8位から急上昇しました。2024年問題（働き方改革関連法の施行に伴い、物流業界で生じる様々な問題）への関心が高まっており、産地からの出荷における輸送力確保が課題です。3位は「持続可能性（環境配慮・エシカル消費など）」（昨年1位）で、生産者側の努力とともに消費者側へ意識づけできるかが課題です。4位は「安定供給」（昨年4位）で、海外産から国産へ切りかえる上で、安定出荷していくことが重要です。5位は「国産志向・地産地消」（昨年6位）で、輸入品の高騰により国産回帰への追い風が吹いています。実現には産地の供給

力強化が重要です。5位タイの「値頃感（節約志向）」は前年9位から上昇しました。物価高も賃金の伸びが追いつかず、消費が冷え込む見方が強まっています。価格転嫁や安価な輸入品から国産へ切りかえる障壁となっています。

次に流通業者が今後『輸入品から国産への切り替えが進むと見る品目』は「野菜」が最も多く、業務・加工・冷凍の分野を含め、端境期となる時期の供給を強めれば、国産は伸びしろがあります。

『消費が伸びそうな野菜の品目』は、「トマト」（昨年2位）が1位に浮上しました。高糖度系品種やミニトマトへの評価が高くなりました。2位は「サツマイモ」（昨年1位）で、「べにはるか」や「シルクスイート」に票が集まった一方、ほくほく系の品種を望む声もあり、ニーズは多様化しています。3位は「ブロッコリー」（昨年2位）で、栄養価が高く、用途が広い人気で定着しています。4位の「アスパラガス」や6位の「タマネギ」は輸入品の価格が高止まりし、供給も不安定です。国内産地の育成、出荷時期の調整などで供給力を高め、国産品のシェアを高めることが重要です。



園芸部

『「徳島いちご」もう食べた?』Instagramキャンペーン

『「徳島いちご」もう食べた?』Instagramキャンペーンを実施中です。参加いただいた方の中から5名様に、徳島の化粧箱入り「紅ほっぺ」と「阿波ほうべに」をプレゼントします。

＜実施期間＞2月15日(水)～2月28日(火)

＜プレゼント賞品＞化粧箱入り「紅ほっぺ」と「阿波ほうべに」の食べ比べセット5名様

＜参加方法＞①JA全農とくしまInstagram「@zennoh_tokushima」をフォロー（すでにフォロー済の方も参加できます）②投稿に「いいね！」

とアンケートに答えて応募完了です。

＜応募資格＞

- ・日本国内にお住まいの方
- ・JA全農とくしまInstagramアカウントをフォローしている方
- ・投稿を行うInstagramアカウントを公開設定にしている方

＜抽選・当選者発表＞

- ・応募期間終了後に抽選を行い、当選者にはJA全農とくしまInstagramのDMより連絡をさせていただきます。奮ってご参加ください。

JAタウン「新鮮大好き徳島」今月のおすすめ



葉わさび
(販売期間：～5月下旬)



いちご「さくらももいちご」
(販売期間：～3月下旬)

JAタウン「新鮮大好き徳島」では、県内JAや企業の協力のもと、徳島県産農産物・加工品のネット販売に取り組んでいます。

四季折々の特産品を随時掲載していますので、贈答用としてもぜひご利用ください。



アクセスはこちら! JAタウン「新鮮大好き徳島」
<https://www.ja-town.com/shop/c/c7001/>

新鮮大好き徳島

検索



～新春の阿波路を駆ける～

第69回徳島駅伝で 県本部職員が力走！

1月4日～5日、徳島県内で開催された「第69回徳島駅伝」に当県本部園芸部園芸総合対策課の祖川昌也職員が出身地の海部郡代表として参加し、新春の阿波路を力走しました。

徳島駅伝は昭和30年(1955年)から続く伝統の駅伝競走で、今大会は県下16都市の代表選手が参加し、たすきを繋いで2日間で全25区間149kmを駆け抜けました。

祖川職員は学生時代から数えて今年で15回目の参加となり、第2日目の第19区(11.1km)を走り切り、海部郡チームは11位の成績となりました。



力走する園芸総合対策課の祖川昌也職員

園芸部

産直市「とくしまマルシェ」 出店

当県本部園芸部は、県内JAと協力し、徳島市東船場町のしんまちボードウォークで毎月最終日曜日に開催される産直市「とくしまマルシェ」に出店しています。

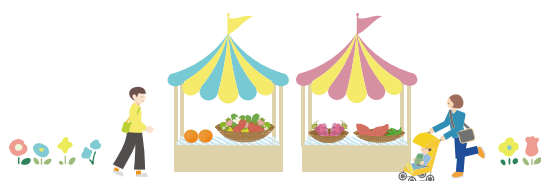
1月29日は、JA板野郡が出店し、レタス、かぶら、ホウレンソウ、かぶらやニンジンの加工品などの販売をおこないました。温かい「かぶらのすうぶ」の試食も好評で、家族連れなどたくさんの買い物客で賑わいました。

次回出店は、令和5年2月26日(日)の予定です。

お問い合わせは、園芸販売課(電話088-634-2514)まで。



家族連れなどたくさんの買い物客に購入していただきました



Teikushima Marche 元気いっぱい、魅力いっぱい、
とくしまマルシェ!



**すぐに暖かいガスファンヒーターを
おすすめします！**



本体重量 7.2kg

空気が乾燥しない



*パワーセーブ機能付きエコ運転

*7つの安全機能付き *におわない



ジェイエイ徳島燃料サービス(株)
088-695-5380



スイッチポンで
5秒で温風スタート！
あっという間にお部屋を
暖めます。



ガスの燃焼により水蒸気
が発生し暖房中でも肌や
のどの乾燥を気にする
必要がありません。
加湿必要ナシ！





水稲用一発肥料には**プラスチック**が使われています

水田から流出させない **対策**をお願いします

被覆肥料は、プラスチック等で肥料をコーティングしているため、肥効の調節が可能です。施肥回数減による軽労化、施肥量の削減、養分の流出防止などの利点がありますが、一方で肥料成分が溶出した後の被膜殻が河川や海へ流出することが問題になっています。

**被覆肥料のプラスチック殻は
水田から流出させないようにしましょう！**



殻を流さないために



対策のポイント

対策1 浅水代かき

● 均平化

入水前に田面はできるだけ均平にしましょう

● 畦畔管理

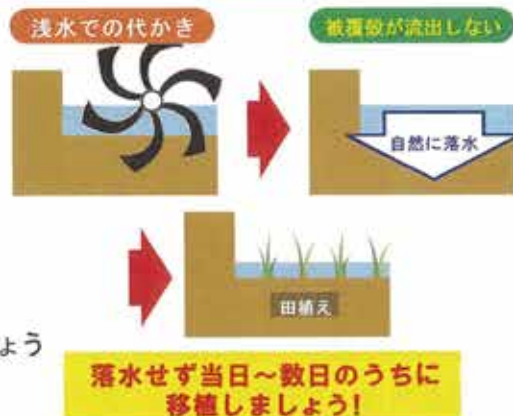
あぜが崩れていないか確認しましょう
排水溝には止水板を設置しましょう

● 入水量

大部分の地表が見えるぐらい浅めの入水にしましょう

● 自然落水

移植前の落水は行わず自然落水により水位を調整しましょう



対策2 捕集ネットの使用

※強制落水を行う場合の対応策です。

① 材料を揃える

材料一覧例

100円ショップで入手可

/①玉ねぎネット

※ネットの網目は2ミリ以下

③クリップ

②BBQ用の網

④園芸用支柱



② 水尻に設置



ネットのみ



園芸用の柵



被覆肥料の殻の
流出防止対策動画

You Tube にて
対策動画を公開しています

◎ 二段構えで薬詰まりを防ぐ

〈製造メーカー・全農による共同研究・開発について〉

①環境にも配慮するため、光や微生物の働きにより土壤中に崩壊・分解しやすくなるように各メーカー工夫をしていますが、分解するまでかなりの時間がかかります。

②より速やかに分解させる技術の確立を目指し、メーカーと協力して研究開発に取り組んでいます。



ラウンドアップ史上

最高の 枯らす力!

*出典 2007「植調」第41巻第3号別冊、過去1981～1999年に販売していたラウンドアップ、2000～2007年に販売していたラウンドアップハイロード、と比較した除草効果。

より確実に根まで枯らす
枯らす力のラウンドアップマックスロード



散布1時間後の
雨にも強い!



低温時にも強い!



朝露にも強い!



専用ULV5ノズルで
水量が1/20に!

*通常散布100L/10aと少量散布5L/10aの水量比較



お問い合わせは最寄のJAへ



JAタウン
「新鮮大好き徳島」



JA全農とくしま
YouTubeチャンネル



JA全農とくしま
Instagram



JA全農とくしま
クックパッド



JA全農とくしま
ホームページ

全農グループ経営理念

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋** になります。

—私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

全農

JA全農とくしま

<https://www.zennoh.or.jp/tm/>



「JA全農とくしま情報」に 関するお問い合わせ先

本紙「JA全農とくしま情報」の購読料・配送料は
無料です。送付先の氏名・住所変更や、
送付の停止につきましては、
JA全農とくしま企画管理課広報室
(電話 088-634-2462)
までご連絡ください。

